



無料学習会とこころのケア

小学生と共に学び合う

ボランティア講師募集

家庭の事情、経済的な事情で
もっと勉強したいのに できない子ども達があります。

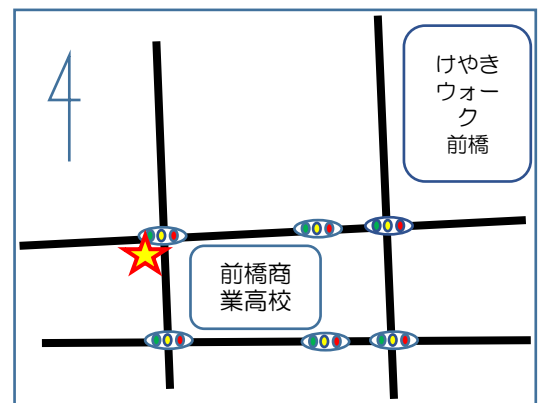
私達は「教育はライフラインである。このライフラインに格差があってはならない」という尾木直樹先生の言葉をモットーに、無料学習会を開き、将来ある子ども達のために、学ぶことの喜びを身に付ける場を提供しています。

貧困問題に興味のある方、勉強を教えるのが好きな方、
子どもと関わるのが好きな方、ぜひご応募ください！！



毎週土曜日 14時～16時

前橋市南町4丁目38-2
佐田土地開発ビル3階（信号の角）



- * 講師として活動する場合は、ひこばえ会員として登録していただきます。
- * 「履歴書」の提出が必要です。交通費は支給します。
- * 相談・見学ご希望の方は、右の連絡先にご連絡下さい。

女性と子どものいのちを守るぐんま支援センター
『認定NPO法人ひこばえ』



住所：前橋市三俣町1-4-13
電話：027-215-5606（茂木・理事長）
080-3206-5123（今井・学習会代表）
メール：hikobae@major.ocn.ne.jp

ひこばえ「心のケアと無料学習会」

♪ 設立の経緯と目的

子どもの6人に1人が貧困家庭の子どもであり、母子家庭の子どもの2人に1人は貧困であるという統計が、内閣府から出ています。

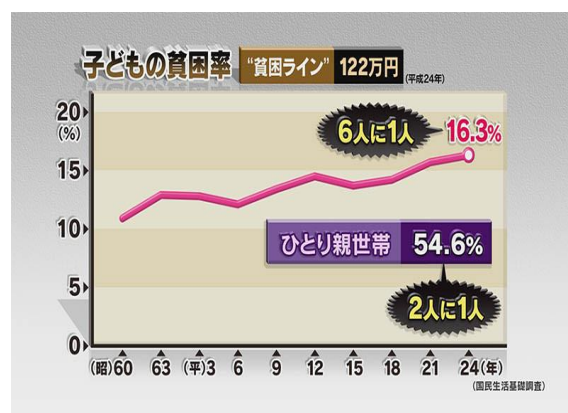
母親が毎日の生活に精一杯であるために、子どもは勉強が分らないとも言えず、教えてもらうこともできず、不安を抱えたまま孤立していきます。その結果、不登校になったり、学校中退となったりもし、これからの人生に自信を無くしてしまう恐れもあります。

平成27年、国が生活困窮者の自立支援に乗り出したのを機に、私たち『ひこばえ』も、母子家庭の子どもや、DV（家庭内暴力）を見て育った子どもに対して、学ぶ場を提供し、「心のケア」も行う無料学習会を始めました。

「貧困」も「DV」も子ども達のせいではありません。しかし、子ども達は、自分のせいであってしまっただけだと思ひ込み、傷つき、なんとか母親を守りたいと小さな心で思っているのです。「貧困」も「DV」も連鎖します。連鎖を止め、この環境を乗り越えるのには、子ども達が、高卒以上の学習力と自分で考える力を身に付ける必要があります。

「こころのケア」も必要です。早いうちに施すことで、心の傷の回復につながります。母親自身の「こころのケア」も必要です。母親が自分の気持ちを話すことができ、こころが落ち着くと、自然と子どもも落ち着いてきます。子どものこころに余裕が出てくると、何かを試してみたいという気持ちが湧いてきます。突然、分らなかった勉強が分かったり、学ぶことの喜びを知ったりします。この自分でもOKなんだと肯定的に思えるようになり、自信をもって社会に羽ばたいていけます。

そうなるよう…子ども達が自分の花を精一杯咲かせられるように、社会の大人の責任として、子ども達のこころに寄り添い、1対1の学習指導をしながら、共に学んでいます。



♪ 学習会の目標

- 家庭にも学校にも居場所がない子供にとって、学校でもない、家でもない、第3の居場所（安心・安全の居場所）になるように心がける。
- できる限りマンツーマンで、子どものペースに合わせて勉強を教える。
- 毎回静かな時間をつくることで、子どもたちに、自分のこころの状態を眺めさせ、認めさせていくことで、気持ちを安定させる。
- 遊びを通して、自分を表現させる。